

<北海道熊研究会 会報> 第61号 2016年 2月 26日

ご意見ご連絡は下記の email へどうぞ

e-mail: kadosaki@pop21.odn.ne.jp

北海道熊研究会事務局 北海道野生動物研究所内(Tel. 011-892-1057)

代表 門崎 允昭

事務局長 Peter Nicholsピーターニコルス氏

幹事長 藤田 弘志 氏

既報会報の1～58号はWebsiteに「北海道野生動物研究所」と入力しご覧下さい

「北海道熊研究会」Hokkaido Bear Research Associationの活動目的

熊の実像について調査研究し、熊による人畜及びその他経済的被害を予防しつつ、人と熊が棲み分けた状態で共存を図り、狩猟以外では熊を殺さない社会の形成を図るための提言と啓発活動を行う。この考えの根底は、この大地は総ての生き物の共有物であり、生物間での食物連鎖の宿命と疾病原因生物以外については、この地球上に生を受けたものは生有る限りお互いの存在を容認しようと言う生物倫理(生物の一員として人が為すべき正しき道)に基づく理念による。

<新書のご紹介>

今般10年がかりで、私が執筆してきた「アイヌ民族と熊：熊儀礼の起源と発展」が、刊行されました(北海道出版企画センター、(274頁) 税込み価格4,320円)です。小項目形式で、333項目に付いて記述し、一書としたものです。

本書を通覧すれば、熊に対するアイヌ民族の観念と具体的な対応。アイヌ民族は如何なる民族か。アイヌ民族と和人の歴史的経緯。アイヌの自然観。自然に対する対応、アイヌの往時の生活等を識る事が出来ます。

<書の内容>

- ① アイヌ民族の起原から現代に至る迄の流れ、特に和人との関係。
- ② アイヌ民族の自然観と自然に対する対応。
- ③ 熊に対するアイヌの考え、対応(送りの発想、その実際、熊の性能にあやかると言う考え、アイヌを襲う熊への考えと対応)など。
- ④ 漁獵民族としての、アイヌの生活の実態(食べ物、衣服、履き物など)。
- ⑤ アイヌ民族の習俗(外の祭壇に頭骨を置く、尚左習俗について)。
- ⑥ 松浦武四郎の蝦夷地探検の苦労話

等

ISBN978-4-8328-1601-5  
C3039 V4000E



9784832816015

定価 [本体 4,000 円+税]  
北海道出版センター



1923039040009

アイヌ民族と熊



熊儀礼の起源と発展

門崎 允昭

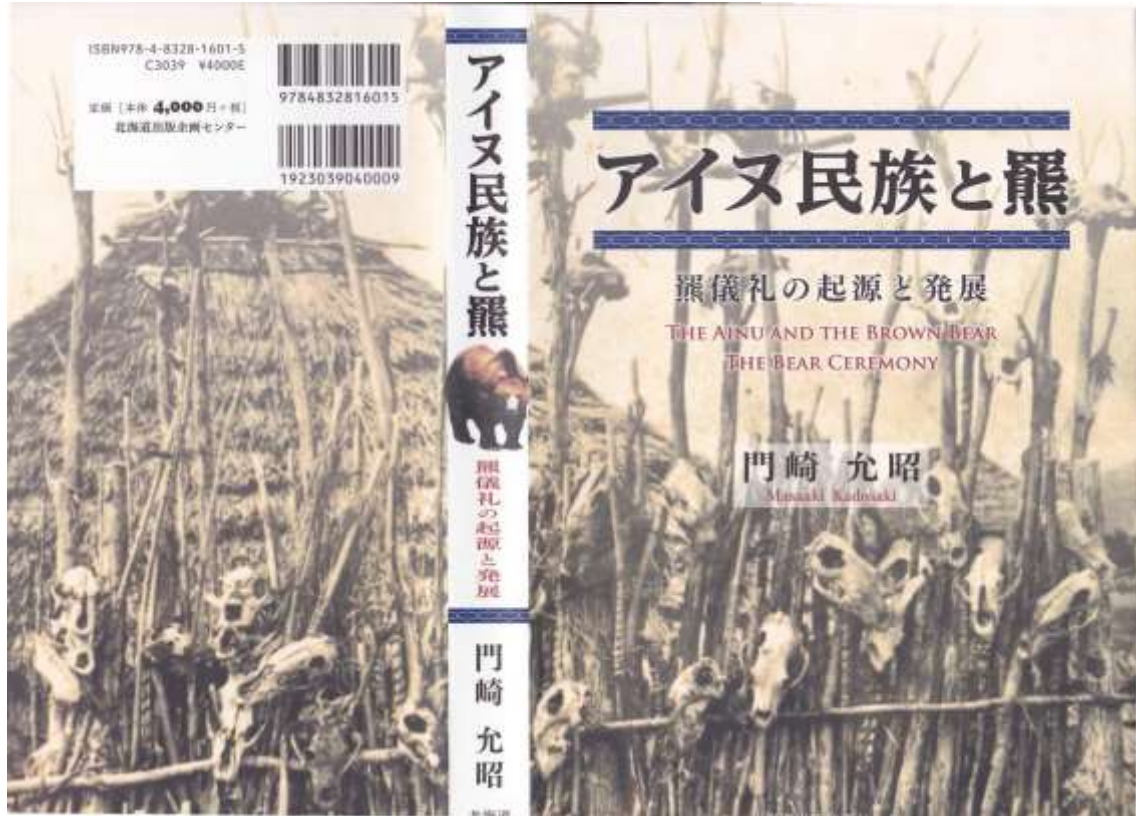
アイヌ民族と熊

熊儀礼の起源と発展

THE AINU AND THE BROWN BEAR  
THE BEAR CEREMONY

門崎 允昭

Masaaki Kadowaki



<詳細目次>

はじめに	15
001<アイヌ民族とその生活と熊儀礼の起源>	15

第 1 編 アイヌ民族の熊(熊)送り儀礼

第 1 章 熊送り儀礼の起源とその発展	23-61
002<熊儀礼の種類>	23
003<世界での熊儀礼の対照種>	24
004<Hallowell (1892~1974) について>	24
005<日本での熊儀礼の初記載>	25
006<松宮健山の「蝦夷誌筆記 (1710)」>	25
007<親山の記述を解釈すると以下の様である>	25
008<アイヌ民族はなぜ「熊送り儀礼」を始めたか>	26
009<アイヌの熊儀での餓死、疫病、天変地異の記録>	28
010<アイヌの送り儀礼は相互扶助>	29
011<アイヌが行った儀礼の種類>	30
012<イオマンテの起源>	31
013<イオマンテを「熊祭り」と和語化するのは誤り>	32
014<アイヌ民族の熊送り儀礼の成立>	33
015<松本真志保が言う「熊祭り」の起源>	33
016<樺太アイヌの熊祭りの起源>	34
017<アイヌの季節観念>	36
018<熊儀礼の種類>	36
019<飼育する子熊は神からの「預かりもの」>	37
020<アイヌが熊を殺す理由は三つ>	38
021<アイヌ世界のシャ머니ズムの熊>	38
022<上記②の「預」に入った狩人に食い其の手で殺され、 次の神聖にもある>	39
023<神 熊>	40
024<飼育した子熊を送る儀礼の起源(天野哲也の説)>	40

025<飼育した子熊を殺し、その霊を送る儀礼は他民族も行 っていた>	41
026<飼育した子熊を殺しその霊を「送る儀礼」を行って いた熊儀礼の居住圏>	42
027<熊胆・熊皮とアイヌ>	42
028<アイヌと和人の交易は金貨ではなく、物々交換であった>	42
029<神としての熊>	43
030<熊の毛皮>	43
031<アイヌの熊の毛色観>	44
032<熊送り儀礼の考え・式次第は以下の事象と一致する>	44
033<熊祭りでは熊皮を張り壁の真似をする>	45
034<飼育子熊の送り儀礼の時期と子熊の年齢>	46
035<熊から子熊を引き出す役>	47
036<子熊を籠から引き出す>	47
037<丸太で締め殺す事>	48
038<前代的熊祭>	49
039<飼育子熊の送り儀礼に要した日数>	51
040<礼冠の管の水彫りの起源>	51
041<アイヌと神の意志伝達具>	52
042<ヌサ nusa、ヌササン nusa-san、inachipa=inawcipe>	54
043<イナウ inaw について>	55
044<捧げた inaw の経過(高倉新一郎、アイヌ民族誌、下、 inaw の起源) から記録>	57
045<東向きの方>	59
046<尻 熊>	60
047<首締め種>	60

第 2 章 日記に見る熊送り儀礼	62-87
048<熊儀礼の記述>	62

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 杉野蘭山「蝦夷誌筆記」(1710)  | 2. 坂倉徳次郎「北海編年」(1730) |
| 3. 松宮健山「蝦夷志」(1711)    | 4. 宇野重吉「奉送記」(1796)   |
| 5. 天野哲也「平本」(未編定、1796) | 6. 丸山謙三「蝦夷地誌」(1796)  |